

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman (広報担当)
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD 社、北京工場の生産能力を拡大

POLARIS™ 3 の立ち上げに向け 最新パッケージング技術を導入し生産能力を拡大

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年7月19日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードする RFMD 社(ナスダック: RFMD)は本日、中国にある同社北京工場の大規模な拡張を発表した。組み立てラインの生産能力増強と最新機能の導入を行う今回の拡張は、今四半期中に生産の立ち上げを計画している同社の POLARIS™ 3 RF ソリューションに対応したもの。

この生産能力増強により、同社が業界をリードする送信モジュールの組み立て能力がほぼ2倍になる。今四半期中にワイヤボンディング工程と試験工程の能力を拡大し、また2007年11月には全体の拡張を終えてフル生産が可能になる。さらにこの北京工場にはフリップチップのパッケージング技術や同社が特許申請中の内部 RF シールド技術など最新技術を使った設備も導入される。また同社は送受信モジュールの高度な試験用に独自の RF 試験プラットフォームをサードパーティ業者の協力を得て社内開発中。200,000 平方フィート(18,580m²)に及ぶ拡張と新たな実現技術により RFMD 社の供給プロセス効率化、市場投入までのリードタイム短縮、生産コストや保管費用の削減が期待される。

「北京工場の拡張は、操業規模、技術革新、および業界一のコスト構造を通じてお客様に奉仕するという当社の基本方針を反映したものです。当社では携帯電話用フロントエンドの市場における当社のリーダーシップを支え、ると共に全体コストを削減し、現在および次世代の携帯電話で当社製品の金額比率を高められる集積度の向上したRFソリューションを提供できるよう、新しい実現技術を導入しています。特に当社が特許申請中のセルフシールド技術はRF部に必要な容積を30%~50%も削減可能な技術で、またお客様には配置による影響の少ないRF部品を提供できるようになります。また当社ではPOLARIS 3 RFソリューションの生産を今後数ヶ月で立ち上げ、2008年にかけて成長させていきますが、この北京工場の拡張によりこの需要に応える当社の能力が十分に向上するものと期待しています。」とRFMD社の社長兼CEOボブ・ブラッグワースは語る。

RFMD 社の POLARIS 3 は必要な RF 部分をすべて含む完全なソリューション。その特長は集積度の高い無線送受信モジュールで、シングルチップの CMOS EDGE トランシーバや水晶発振器、必要とされる受信フィルタ機能がすべて含まれている。またこのソリューションにはパワーアンプや送受信スイッチなど、RFMD 社が業界をリードするフロントエンド技術も含まれている。最後に、この画期的な POLARIS 3 RF ソリューションには RF シールドが内蔵されており、特許申請中の内蔵 RF シールド技術のもたらす利益は大きい。

POLARIS 3 の実装では携帯電話の回路基板に使われているコストが高く厄介な金属シールドが不要になり部品配置が約 80%も削減されるため、大幅に小さく薄くすることができる。

RFMD 社は携帯電話端末用フロントエンドの業界リーダー。POLARIS 3 の立ち上げは、同社の携帯電話向け RF ソリューションの中での金額比率を高め、特に、RFMD 社の POLARIS ソリューションは携帯電話用フロントエンドの金額比率を約 3 倍に向上させる。

RFMD 社について RFMD(NASDAQ: RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウエハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® と POLARIS™ は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###